



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 三精テクノロジーズ株式会社
 コード番号 6357 URL <http://www.sansei-technologies.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 良知 昇

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 山邊 隆義

TEL 06-6393-5621

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	36,537	18.9	1,423	50.4	1,543	46.6	751	47.1
2020年3月期	45,077	14.6	2,871	33.5	2,889	32.6	1,420	48.3

(注) 包括利益 2021年3月期 2,572百万円 (966.7%) 2020年3月期 241百万円 (90.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	40.62	40.17	2.4	2.4	3.9
2020年3月期	76.95	76.25	4.7	4.3	6.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 9百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	66,438	31,679	47.5	1,703.95
2020年3月期	64,979	30,116	46.0	1,619.85

(参考) 自己資本 2021年3月期 31,531百万円 2020年3月期 29,912百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	553	658	2,678	12,114
2020年3月期	4,231	1,069	1,759	10,535

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		17.50		17.50	35.00	646	45.5	2.1
2021年3月期		15.00		20.00	35.00	647	86.2	2.1
2022年3月期(予想)		17.50		17.50	35.00		58.8	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	1.5	1,500	5.4	2,000	29.6	1,100	46.4	59.47

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	19,332,057 株	2020年3月期	19,332,057 株
期末自己株式数	2021年3月期	826,954 株	2020年3月期	865,608 株
期中平均株式数	2021年3月期	18,495,536 株	2020年3月期	18,460,146 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	18,872	2.9	1,003	37.8	2,149	8.0	1,810	15.1
2020年3月期	19,444	4.4	728	90.5	1,989	40.5	1,573	26.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	97.88	96.80
2020年3月期	85.23	84.45

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	51,715	24,384	46.9	1,309.75
2020年3月期	45,936	22,187	48.0	1,193.74

(参考) 自己資本 2021年3月期 24,237百万円 2020年3月期 22,044百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料4ページ「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、年間を通じて世界経済は深刻な影響を受ける事態となりました。当社のお取引先である国内外の遊園地やテーマパーク、劇場などのエンターテインメント関連業界も閉鎖や入場制限などを余儀なくされ、当社の事業環境も極めて厳しい状況が続きました。

当社の当年度連結業績計画につきましては、国内の遊戯機械や舞台機構で大型工事案件の順調な進捗が見込まれましたが、舞台設備事業でのコンサート・イベントなどの中止・縮小や海外の遊戯機械事業での受注・工事両面での中断・遅延などの業績悪化要因を織り込み、減収減益かつ親会社株主に帰属する当期純利益は赤字計画といたしました。

その上で、工程管理や工事採算の改善、販売管理費の圧縮などに取り組んでまいりました結果、売上高は36,537百万円（前期比18.9%減、計画比1.2%減）、営業利益は1,423百万円（前期比50.4%減、計画比163.6%増）、経常利益は1,543百万円（前期比46.6%減、計画比185.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は751百万円（前期比47.1%減、計画比991百万円増益）、と前期比では減収減益となりましたが、計画比では各利益段階で公表計画を上回ることができました。

(注) 2021年3月期業績計画（単位 百万円）

売上高 37,000、営業利益 540、経常利益 540、親会社株主に帰属する当期純利益 △240

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

（売上高は、セグメント間の内部売上を含んでおりません）

遊戯機械

米国をはじめ国内外のパークの一部で受注・工事などについて中断や遅延があったことなどから、売上高は18,167百万円（前期比22.6%減）となりましたが、国内事業での好採算案件の工事進捗に加えて、製造コストや販売管理費の圧縮に努めたこと、為替の好影響などもあり、セグメント利益は385百万円（同208.2%増）となりました。

舞台設備

公共ホールなど新設の舞台機構については大型案件の工事が着実に進捗しましたが、コンサート・イベントなどの中止や開催方法見直しなどの影響から仮設舞台装置の需要の落ち込みが大きく、売上高は12,785百万円（同22.0%減）、セグメント利益は1,470百万円（同57.2%減）となりました。

昇降機

新設では集合住宅用の案件を中心に順調に工事が進捗したことや、改修案件も更新需要を捉えて売上を伸ばしたこと、保守・メンテナンス事業も堅調に推移したことなどにより、売上高は5,533百万円（同7.6%増）、セグメント利益は940百万円（同16.4%増）となりました。

その他

売上高は50百万円（同39.4%減）、セグメント損失は24百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ1,459百万円増加し、66,438百万円となりました。これは主に、無形固定資産が1,163百万円、未収入金などのその他流動資産が487百万円、それぞれ減少したのに対し、現金及び預金が1,578百万円増加したこと、及び株価上昇に伴い投資有価証券が1,381百万円増加したことなどによります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ103百万円減少し、34,759百万円となりました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が3,877百万円増加したのに対し、支払手形及び買掛金が754百万円、前受金が737百万円、工事損失引当金が1,180百万円、それぞれ減少したことなどによります。

(純資産の部)

前連結会計年度末に比べ1,562百万円増加し、31,679百万円となりました。これは主に、利益剰余金が150百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が948百万円増加したこと、為替換算調整勘定が490百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,578百万円増加し12,114百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べて4,784百万円減少し553百万円の支出となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,544百万円、減価償却費1,778百万円、のれん償却額765百万円などであり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,296百万円、工事損失引当金の減少1,224百万円、前受金の減少927百万円、仕入債務の減少779百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べて411百万円減少し658百万円となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による469百万円などでありあります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べて4,437百万円増加し2,678百万円となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の純増による4,896百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による2,290百万円、配当金の支払いによる600百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	68.1	42.9	43.9	46.0	47.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	47.7	33.4	40.9	16.7	21.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	43.3	—	691.8	408.5	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	464.3	—	14.6	17.8	—

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュフロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

※2018年3月期及び2021年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオについては営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係る自己資本比率及び時価ベースの自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大は、依然として収束の兆しが見えませんが、今後のワクチンの普及につれて経済活動も徐々に回復に向かうものと予想しております。当社としましても、改めて取引先とのコミュニケーションを強化し、グローバルな需要回復に備えると共に、新たな事業展開やこれを支える社内体制の整備を進め、業績向上に努めてまいります。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、遊戯機械事業での受注・工事両面での中断・遅延などの影響は残りますものの、舞台設備事業でのコンサート・イベント関連需要の期後半での回復などを見込み、売上高36,000百万円（前期比1.5%減）、営業利益は1,500百万円（同5.4%増）、経常利益は2,000百万円（同29.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,100百万円（同46.4%増）を見込んでおります。

配当につきましては、安定的な利益還元を行うことを基本方針として、収益水準、受注状況、財務状況などを総合的に勘案し決定しております。次期につきましては、年間配当金は1株当たり35円とし、中間配当金17円50銭を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,568,802	12,147,701
受取手形及び売掛金	20,721,996	21,191,461
電子記録債権	315,129	205,001
有価証券	100,580	-
仕掛品	675,265	612,611
原材料及び貯蔵品	2,405,385	2,378,629
その他	1,655,752	1,168,566
貸倒引当金	△113,052	△83,655
流動資産合計	36,329,860	37,620,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,658,659	7,618,538
減価償却累計額	△2,336,022	△2,583,792
建物及び構築物（純額）	5,322,637	5,034,746
機械装置及び運搬具	3,970,283	4,120,684
減価償却累計額	△3,121,739	△3,397,512
機械装置及び運搬具（純額）	848,543	723,172
土地	4,332,688	4,332,388
建設仮勘定	109,125	143,477
その他	1,510,380	1,649,262
減価償却累計額	△1,020,350	△1,204,247
その他（純額）	490,029	445,015
有形固定資産合計	11,103,024	10,678,798
無形固定資産		
のれん	8,941,646	8,699,406
その他	2,529,137	1,607,412
無形固定資産合計	11,470,784	10,306,819
投資その他の資産		
投資有価証券	4,529,244	5,911,195
長期貸付金	42,286	32,272
繰延税金資産	607,647	899,024
その他	897,883	991,038
貸倒引当金	△1,251	△856
投資その他の資産合計	6,075,811	7,832,673
固定資産合計	28,649,620	28,818,291
資産合計	64,979,481	66,438,606

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,929,550	2,174,905
短期借入金	1,440,451	6,257,525
1年内返済予定の長期借入金	2,294,470	1,355,383
未払法人税等	480,347	398,091
未払消費税等	402,986	115,540
前受金	6,324,759	5,587,605
賞与引当金	577,614	504,624
役員賞与引当金	36,750	33,672
工事損失引当金	1,446,109	265,589
その他	2,439,358	1,588,517
流動負債合計	18,372,398	18,281,454
固定負債		
長期借入金	13,474,703	13,225,232
繰延税金負債	741,066	834,376
退職給付に係る負債	2,199,631	2,372,302
その他	75,238	46,004
固定負債合計	16,490,640	16,477,915
負債合計	34,863,039	34,759,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,251,279	3,251,279
資本剰余金	2,432,895	2,442,954
利益剰余金	24,134,456	24,284,998
自己株式	△435,953	△416,548
株主資本合計	29,382,678	29,562,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,129,444	2,078,321
繰延ヘッジ損益	△1,130	3,418
為替換算調整勘定	△579,437	△88,677
退職給付に係る調整累計額	△18,652	△23,918
その他の包括利益累計額合計	530,224	1,969,143
新株予約権	142,939	147,408
非支配株主持分	60,600	-
純資産合計	30,116,442	31,679,235
負債純資産合計	64,979,481	66,438,606

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	45,077,568	36,537,672
売上原価	32,997,685	26,540,088
売上総利益	12,079,882	9,997,584
販売費及び一般管理費	9,207,969	8,574,098
営業利益	2,871,913	1,423,486
営業外収益		
受取利息	5,654	5,930
受取配当金	120,534	122,341
保険配当金	118,859	48,688
受取賃貸料	37,296	39,413
助成金収入	-	143,166
その他	15,012	33,131
営業外収益合計	297,357	392,671
営業外費用		
支払利息	243,018	239,572
支払手数料	5,382	23,399
為替差損	19,494	59
持分法による投資損失	9,381	-
その他	2,395	9,594
営業外費用合計	279,672	272,627
経常利益	2,889,598	1,543,530
特別利益		
固定資産売却益	3,538	1,041
投資有価証券売却益	900	-
特別利益合計	4,438	1,041
特別損失		
固定資産廃棄損	21,896	-
投資有価証券評価損	94,470	-
投資有価証券売却損	-	103
減損損失	175,322	-
特別損失合計	291,690	103
税金等調整前当期純利益	2,602,347	1,544,469
法人税、住民税及び事業税	1,364,910	1,365,756
法人税等調整額	△243,690	△954,606
法人税等合計	1,121,219	411,150
当期純利益	1,481,127	1,133,318
非支配株主に帰属する当期純利益	60,600	382,033
親会社株主に帰属する当期純利益	1,420,527	751,284

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,481,127	1,133,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△265,523	948,877
繰延ヘッジ損益	△9,924	4,548
為替換算調整勘定	△941,507	490,759
退職給付に係る調整額	△23,043	△5,266
その他の包括利益合計	△1,239,998	1,438,919
包括利益	241,129	2,572,238
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	180,529	2,190,204
非支配株主に係る包括利益	60,600	382,033

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,251,279	2,429,502	23,359,730	△443,285	28,597,227
会計方針の変更による累積的影響額			149		149
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,251,279	2,429,502	23,359,880	△443,285	28,597,376
当期変動額					
剰余金の配当			△645,951		△645,951
親会社株主に帰属する当期純利益			1,420,527		1,420,527
自己株式の取得				△77	△77
自己株式の処分		3,393		7,408	10,802
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	3,393	774,576	7,331	785,301
当期末残高	3,251,279	2,432,895	24,134,456	△435,953	29,382,678

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,394,967	8,793	362,070	4,390	1,770,222	114,189	-	30,481,639
会計方針の変更による累積的影響額								149
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,394,967	8,793	362,070	4,390	1,770,222	114,189	-	30,481,788
当期変動額								
剰余金の配当								△645,951
親会社株主に帰属する当期純利益								1,420,527
自己株式の取得								△77
自己株式の処分								10,802
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△265,523	△9,924	△941,507	△23,043	△1,239,998	28,750	60,600	△1,150,648
当期変動額合計	△265,523	△9,924	△941,507	△23,043	△1,239,998	28,750	60,600	△365,346
当期末残高	1,129,444	△1,130	△579,437	△18,652	530,224	142,939	60,600	30,116,442

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,251,279	2,432,895	24,134,456	△435,953	29,382,678
会計方針の変更による累積的影響額					
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,251,279	2,432,895	24,134,456	△435,953	29,382,678
当期変動額					
剰余金の配当			△600,742		△600,742
親会社株主に帰属する当期純利益			751,284		751,284
自己株式の取得				△352	△352
自己株式の処分		10,059		19,756	29,815
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	10,059	150,541	19,404	180,005
当期末残高	3,251,279	2,442,954	24,284,998	△416,548	29,562,683

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,129,444	△1,130	△579,437	△18,652	530,224	142,939	60,600	30,116,442
会計方針の変更による累積的影響額								
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,129,444	△1,130	△579,437	△18,652	530,224	142,939	60,600	30,116,442
当期変動額								
剰余金の配当								△600,742
親会社株主に帰属する当期純利益								751,284
自己株式の取得								△352
自己株式の処分								29,815
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	948,877	4,548	490,759	△5,266	1,438,919	4,468	△60,600	1,382,787
当期変動額合計	948,877	4,548	490,759	△5,266	1,438,919	4,468	△60,600	1,562,793
当期末残高	2,078,321	3,418	△88,677	△23,918	1,969,143	147,408	-	31,679,235

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,602,347	1,544,469
減価償却費	1,703,688	1,778,419
のれん償却額	756,406	765,694
減損損失	175,322	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	71,087	△72,989
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	303,710	△1,224,519
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	94,419	165,082
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,000	△3,077
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,469	△32,886
受取利息及び受取配当金	△126,189	△128,271
支払利息	243,018	239,572
投資有価証券売却損益 (△は益)	△900	△103
投資有価証券評価損益 (△は益)	94,470	-
固定資産売却損益 (△は益)	△3,538	△1,041
固定資産廃棄損	21,896	4,041
売上債権の増減額 (△は増加)	3,299,393	△93,730
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△650,178	102,952
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,375,202	△779,672
前受金の増減額 (△は減少)	△1,432,244	△927,285
未払消費税等の増減額 (△は減少)	237,290	△287,446
未収消費税等の増減額 (△は増加)	87,698	△249,516
持分法による投資損益 (△は益)	9,522	-
その他の資産の増減額 (△は増加)	△306,636	460,608
その他の負債の増減額 (△は減少)	116,859	△402,649
その他	35,437	193
小計	5,973,148	857,842
利息及び配当金の受取額	119,553	134,896
利息の支払額	△237,255	△248,837
法人税等の支払額	△1,623,561	△1,296,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,231,885	△553,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	10,000	20,000
有価証券の売却及び償還による収入	-	100,000
投資有価証券の取得による支出	-	△24,233
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,527	3,373
子会社株式の取得による支出	-	△251,879
有形固定資産の取得による支出	△962,846	△469,120
有形固定資産の売却による収入	29,844	△325
無形固定資産の取得による支出	△123,403	△86,458
貸付けによる支出	△42,594	△10,081
貸付金の回収による収入	13,290	39,406
その他	14,502	40,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,069,679	△658,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	208,126	4,896,500
長期借入れによる収入	-	1,162,537
長期借入金の返済による支出	△1,276,008	△2,290,695
リース債務の返済による支出	△45,205	△44,068
ストックオプションの行使による収入	14	39
自己株式の取得による支出	△77	△352
非支配株主への配当金の支払額	-	△444,829
配当金の支払額	△645,865	△600,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,759,015	2,678,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	△179,106	111,934
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,224,084	1,578,898
現金及び現金同等物の期首残高	9,311,511	10,535,595
現金及び現金同等物の期末残高	10,535,595	12,114,494

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の事業は、遊戯機械・舞台設備・昇降機の3事業部門において、設計から保守改修に至るまで一貫した運営・管理体制としており、財務情報に基づく報告セグメントもそれら事業本部ごとに区分しています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

当社は、遊戯機械・舞台設備・昇降機の3事業部門において、多様な製品の設計・製造・施工・保守・改修工事などを行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	23,464,306	16,386,403	5,143,690	44,994,400	83,168	45,077,568	—	45,077,568
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,840	—	—	2,840	720	3,560	△3,560	—
計	23,467,146	16,386,403	5,143,690	44,997,240	83,888	45,081,129	△3,560	45,077,568
セグメント利益	125,093	3,440,350	808,269	4,373,713	10,497	4,384,211	△1,512,297	2,871,913
セグメント資産	34,125,569	13,775,897	3,111,504	51,012,971	621,459	51,634,430	13,345,050	64,979,481
その他の項目								
減価償却費	1,287,398	299,879	50,257	1,637,535	5,550	1,643,085	60,602	1,703,688
のれんの 償却額	640,113	116,293	—	756,406	—	756,406	—	756,406
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	350,820	698,523	34,951	1,084,295	—	1,084,295	87,025	1,171,321

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 全社資産の主なものは、提出会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産などであります。

(3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	遊戯機械	舞台設備	昇降機	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	18,167,902	12,785,619	5,533,714	36,487,236	50,436	36,537,672	—	36,537,672
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	704	—	—	704	720	1,424	△1,424	—
計	18,168,606	12,785,619	5,533,714	36,487,940	51,156	36,539,096	△1,424	36,537,672
セグメント利益	385,546	1,470,950	940,913	2,797,409	△24,858	2,772,551	△1,349,065	1,423,486
セグメント資産	31,998,250	12,713,154	3,398,734	48,110,140	606,799	48,716,939	17,721,667	66,438,606
その他の項目								
減価償却費	1,302,942	342,918	55,034	1,700,895	6,396	1,707,291	71,128	1,778,419
のれんの 償却額	649,401	116,293	—	765,694	—	765,694	—	765,694
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	402,342	203,263	70,931	676,537	—	676,537	4,013	680,551

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産業及びレジャー・サービス業であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 全社資産の主なものは、提出会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産などであります。

(3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,619円85銭	1,703円95銭
1株当たり当期純利益	76円95銭	40円62銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	76円25銭	40円17銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,420,527	751,284
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,420,527	751,284
普通株式の期中平均株式数(株)	18,460,146	18,495,536
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	169,395	205,990
(うち新株予約権(株))	(169,395)	(205,990)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。